

Transformational Start Ups' Business Acceleration for the SDGs Agenda

2023 開催に当たって

2023年9月21日

JICA 中南米部

中南米・カリブ地域への事業展開を6つの点から支援



**エキスパートによる
質の高いメンタリング**
(ビジネス・インパクト両面
からサポート)



**現地ネットワークの
紹介**



**渡航、通訳支援の
一部支援の可能性**
(進捗度に応じて条件付き支援)



**プログラム終了後のIDB
Labによる
追加支援の可能性**
(BtoB もしくは BtoC)



**プログラム終了後のJICA
による追加支援の可能性**
(BtoG)



**TSUBASAコミュニティ
への参加**

Businessコース

対象企業 B to BまたはB to Cのビジネスモデルを前提にLACでの事業展開を検討

- 製品/サービスが商品化する前段階でも構わない
- 既にパートナーがおり、スケールアップをしたい企業についても支援を提供可能（要相談）

支援内容 Phase 1 : アイデアブラッシュアップ、パートナー候補特定（オンライン面談）

Phase2 : パートナー候補とビジネスプランを議論（含渡航支援）※Phase1完了企業のみ対象

ゴール 初期パートナーとビジネスプラン検討ができている

終了後の追加支援 IDB Labによる追加支援の可能性を検討

- Phase2終了時点でIDB Labが検討可否を判断

Governmentコース

JICAが示す重点課題領域やJICA協力事業の効果増大に貢献するソリューションを有し、B to Gのビジネスモデルを想定する企業

- JICAが提示する領域や案件の該当企業のみ対象
- 既に国内外での実証が完了・販売実績を有するなど、ソリューションが確立済みであることが要件

Phase1 : JICA協力事業との連携や相手国政府/政府関係機関との実証実施に向けたスキームの整理

Phase2 : 相手国との協議支援（含渡航支援）

相手国政府/政府関係機関との連携可能性の確認ができている

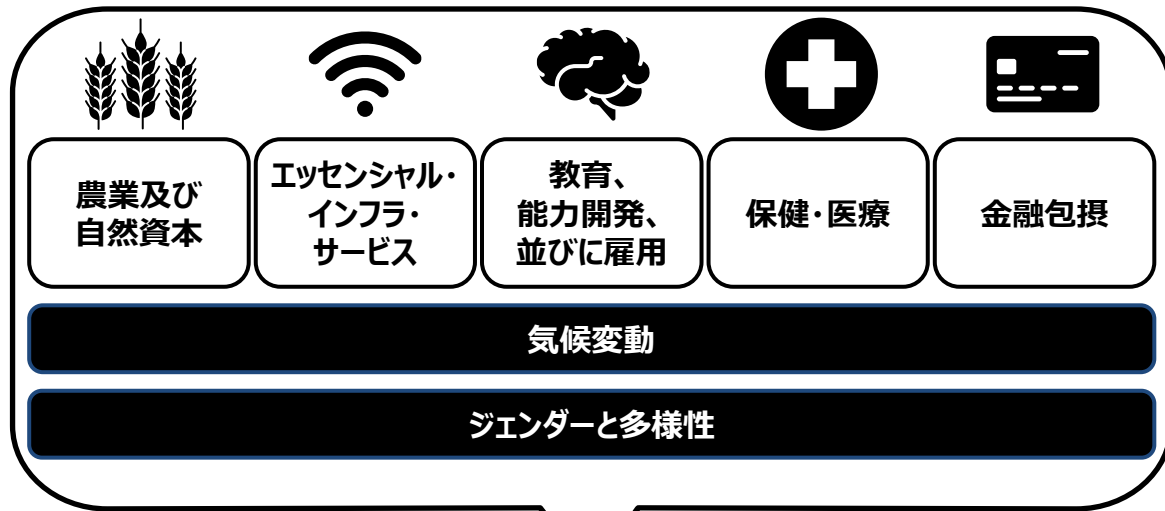
JICAによる追加支援の可能性を検討

- 支援プログラム終了時点で判断
- 但し、相手国政府が絡むため、実現まではBusinessコースに比べて相応の時間を要する点に留意

応募を期待したい優先分野

Businessコース

IDB Labの重点分野
(他分野の応募を妨げるものではない)



IDB Labは各重点分野において、革新的アプローチを有する企業からの応募を期待

- Silver economy、EdTech、AgeTech、FinTech、ClimateTech、GenderTech、AgTech 等

Governmentコース

Governmentコースについては
下記該当分野の応募を受付

① 個別協力事業の効果増幅

- ボリビア「コチャバンバ県における統合水資源管理実践能力強化プロジェクト」(技術協力)

② 個別協力事業に紐づかない革新的なアプローチの検証

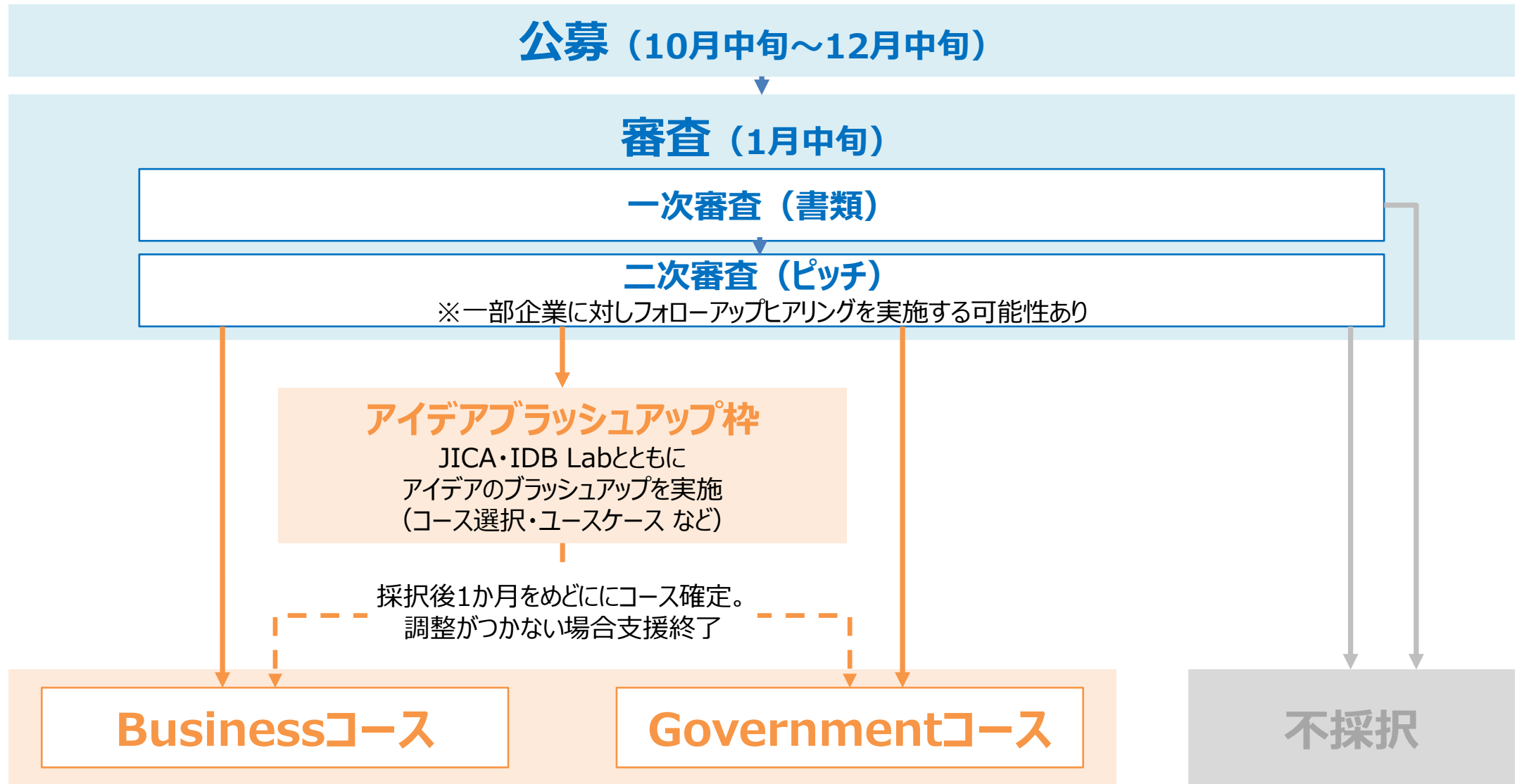
- メキシコ×農業
- パナマ×農業
- 中米・カリブ×環境
- ドミニカ共和国×農業
- ブラジル×農業
- ボリビア×農業
- ペルー×農業／環境／交通等

JICAの追加支援に関する説明資料にて
具体的に期待する技術を提示

オープンイノベーションチャレンジTSUBASA2023応募要項

主催	JICA（国際協力機構）、IDB Lab
目的	中南米地域の開発課題解決に資する革新的なアイデア、ビジネスモデル、テクノロジーを有する国内スタートアップ企業の発掘
募集内容	中南米・カリブ地域における特定の開発課題/SDGsに対するソリューション
公募期間	2023年10月中旬～12月中旬
応募要件	<ul style="list-style-type: none">✓ 日本国内で登記済みのスタートアップ・中小零細企業・大企業社内ベンチャーなど✓ 中南米・カリブ地域を対象に開発課題解決/SDGs達成に資するアイデアを有していること✓ JICA・IDB Labの支援対象国での事業展開を視野に入れていること✓ 6か月の支援プログラムへの参加が可能であること
応募対象分野	<p>Businessコース：特に制約無し</p> <ul style="list-style-type: none">● 特に重点分野における革新的なソリューションに応募を期待<ul style="list-style-type: none">- Silver economy、EdTech、AgeTech、FinTech、ClimateTech、GenderTech、AgTech 等 <p>Governmentコース：下記該当分野の応募を受付</p> <ul style="list-style-type: none">● ①ボリビア「コチャバンバ県における統合水資源管理実践能力強化プロジェクト」（技術協力）● ②メキシコ×農業、パナマ×農業、中米・カリブ×環境、ドミニカ共和国×農業、ブラジル×農業、ボリビア×農業、ペルー×農業/環境/交通等

公募のプロセス



応募にあたっての留意点：TSUBASAについて

- ✓ **応募を期待するイノベーションの定義：SDGs達成に対する“アプローチ”が革新的であること**
 - プロダクト自体の革新性よりも、アプローチの革新性を評価
- ✓ **応募コースの選択について：Businessコース・Governmentコースについて、両コースへの併願を可能とする**
 - 但し、採択を期待するコースの優先順位を明確化すること
- ✓ **アイデアブラッシュアップ枠での採択：大幅なアイデアのピボットが必要なケースは、アイデアブラッシュアップ枠として採択**
 - アイデアブラッシュアップ枠での採択となった場合、採択後のメンタリングを経て1か月程度をめぐり、ユースケースやビジネスモデルの方向性を合意し、BusinessコースかGovernmentコースへと進む。方向性の合意ができない場合は、支援を終了する
 - ピボットが難しい場合には応募書類に明確に記載すること
- ✓ **多様性への配慮：チームの体制やアイデアの内容についてダイバーシティ&インクルージョンの観点で採択にあたり考慮する**
- ✓ **渡航費用支援：実施の妥当性が認められる企業にのみ支援を行うとともに、支援金額については一部自社負担とする**
 - Businessコース：特定されたパートナー候補との連携プランを詰めることが目的。Phase1を完了した企業のみを対象
 - Governmentコース：現地政府との協議で連携仮説を検証することが目的
- ✓ **過去採択企業の再応募：過去採択企業の再応募を可能とする**
 - 条件については、事前に運営に問い合わせること

応募にあたっての留意点：追加支援について

- ✓ 追加支援の位置づけ：TSUBASAで事業プランの妥当性が認められた場合にのみ検討する
その可否はGovernmentコースはJICA、BusinessコースはIDB Labがそれぞれ独自で判断する

- ✓ JICAの追加支援（Governmentコース）：ODAとの連携を視野に入れる場合、相手国政府/政府関係機関との協議から案件形成までに長期の時間を要することに留意
 - 相手国政府/政府関係機関との協議開始から2年程度の時間軸を見込む
 - また相手国政府/政府関係機関との協議の動向によっては途中で方針変更が起こりうる

応募までの追加イベント

日時

概要

2023年9月21日（本日）

キックオフイベント

9月21日～10月中旬

オンライン事前応募相談

- 実施期間：公募開始前まで
- 実施方法・時間：1社15分程度を想定
- 申し込み：TSUBASA特設サイトより申し込み

10月12日 8:00-9:30
開催予定

Governmentコース課題紹介セミナーの開催

- 実施方法：オンライン（録画の一般公開は無し）
- 申し込み：TSUBASA特設サイトより申し込み

10月中旬～12月中旬

オープンノベーションチャレンジ公募開始～締め切り

2024年1月

書類選考・ピッチ審査を通じた支援対象企業採択

3月～

支援プログラム（6か月）



Transformational Start Ups' Business Acceleration for the SDGs Agenda